

東北大学東北アジア研究センター

研究成果報告会

2017

日時

2018.

5/14

10:00 ~ 17:50

月

会場

東北大学片平北門会館 2F エスパス



プログラム

❖ 10:00 開会 17:50 閉会

共同研究発表

10:10 ~ 17:40

※各報告 20 分（発表 15 分、質疑 5 分）。発表順は当日変更になる場合があります。

- ① 10:10 移動と流行：移民がもたらしたもの／持ち帰ったもの（川口幸大）
- ② 10:30 族譜編纂活動における現代中国人の歴史意識の研究（瀬川昌久）
- ③ 10:50 オーラルヒストリーによる旧ソ連ロシア語系住民の口頭言語と対ソ・対露認識の研究（柳田賢二）
- ④ 11:10 複眼的方法論からみる中国における権威主義体制の強靱性（内藤寛子）
- ⑤ 11:30 東北アジア諸地域における清朝統治の歴史的意味に関する比較研究（岡 洋樹）
- ⑥ 13:00 東北アジアにおける地質環境と「石」文化の長期的相互作用の研究（田村光平／発表：青木要祐（文学研究科））〔公募型共同研究〕
- ⑦ 13:20 遺跡にみる生物多様性研究（千葉 聡）
- ⑧ 13:40 宝石資源を持つ自然遺産の持続可能な保全のための学際的研究（鹿山雅裕）〔公募型共同研究〕
- ⑨ 14:00 ウランバートル・ゲル地区における住まいの複層的調査を通した都市環境問題解決方策の提言（坂本 剛）〔公募型共同研究〕
- ⑩ 14:20 東北アジア辺境地域多民族共生コミュニティ形成の論理に関する研究（岡 洋樹）
- ⑪ 14:40 東日本大震災後のコミュニティ再生・創生プロセスと持続可能性に関する実証的共同研究（高倉浩樹）
- ⑫ 15:20 中国における新しい石炭政策が大気汚染および温暖化を緩和する可能性（明日香寿川）
- ⑬ 15:40 北東アジアにおける日本のソフトパワー（石井 敦／発表：石井・勝間田）
- ⑭ 16:00 仙台市博物館所蔵の矢羽の同定に基づくオジロワシ・オオワシ猟の復元（大泰司紀之／発表：太子夕佳）〔公募型共同研究〕
- ⑮ 16:20 地中レーダによる遺跡探査の推進（佐藤源之）
- ⑯ 16:40 根室半島～歯舞群島・色丹島の前弧マグマがもたらす地域環境システム（平野直人）
- ⑰ 17:00 蔵王火山の活動の熱的・地球化学的モニタリング（後藤章夫）
- ⑱ 17:20 南三陸・仙台湾地域を対象とした次世代ジオツーリズムの構築（宮本 毅）

ポスター発表

- ① 都市社会における人 - 自然関係に関する一考察 —森林ボランティア組織の持続可能性に着目して（石井花織（高倉研究室））
- ② GB-SAR による地滑りモニタリング（Zou Lilong, Amila Thilanka KARUNATHILAKE, 佐藤源之）
- ③ ALIS による地雷除去活動（佐藤源之）
- ④ Mineral extraction and opportunities and challenges to address future water supply-demand in the Gobi desert region
(BYAMBAJAV DALAIBUYAN)

主催：東北大学東北アジア研究センター

問合せ：東北アジア研究センター事務局

TEL. 022-795-6009

E-mail: asiajimu@cneas.tohoku.ac.jp